



東日本大震災・原子力発電所被災以降の消費電力削減対策

3月11日の東日本大震災の発生により、電気・ガス・水道などのライフラインが不通になり、特に首都圏では公共交通機関がマヒして、多くの人々が通勤難民となってしまいました。また、原子力発電所の事故が重なり「計画停電の実施」など、電気の安定供給ができないという、一般生活だけではなく工業生産やその他事業活動などにも影響を及ぼす結果となりました。

今まで当たり前のように使っていた「電気が使えない」ということではなく、「使わなくてもよい生活」にライフスタイルを転換していくことが大切です。地球温暖化防止のためにも、いかに節電・省エネを実施していくかが、企業の大きな課題になります。

ピーク電力15%削減のエコ・ファーストの約束

2011年5月18日、環境省でエコ・ファースト企業28社が一同に集い、環境大臣にピーク電力15%削減を約束しました。この約束は、お客様と一緒に節電する項目と、店舗施設の活用についての項目から成っています。

ユニーは小売業として唯一この約束に参加しましたが、メーカー各社と異なり、自社の都合や計画だけで対応できるわけではなく、お客様のご協力や出店しているテナント各店との協働で進めていかなければなりません。店舗の照明や空調温度設定など、来店されたお客様にご理解いただきながら、節電対策を進めています。



「節電ライフ」を説明する
前村社長



環境先進企業であるエコ・ファースト企業はいち早く節電計画を発表



東京電力・東北電力供給地域の店舗では
ショーケースの照明を消灯



愛知県稲沢市の本社事務所では、
従来より必要な照明だけを点灯（昼休み）

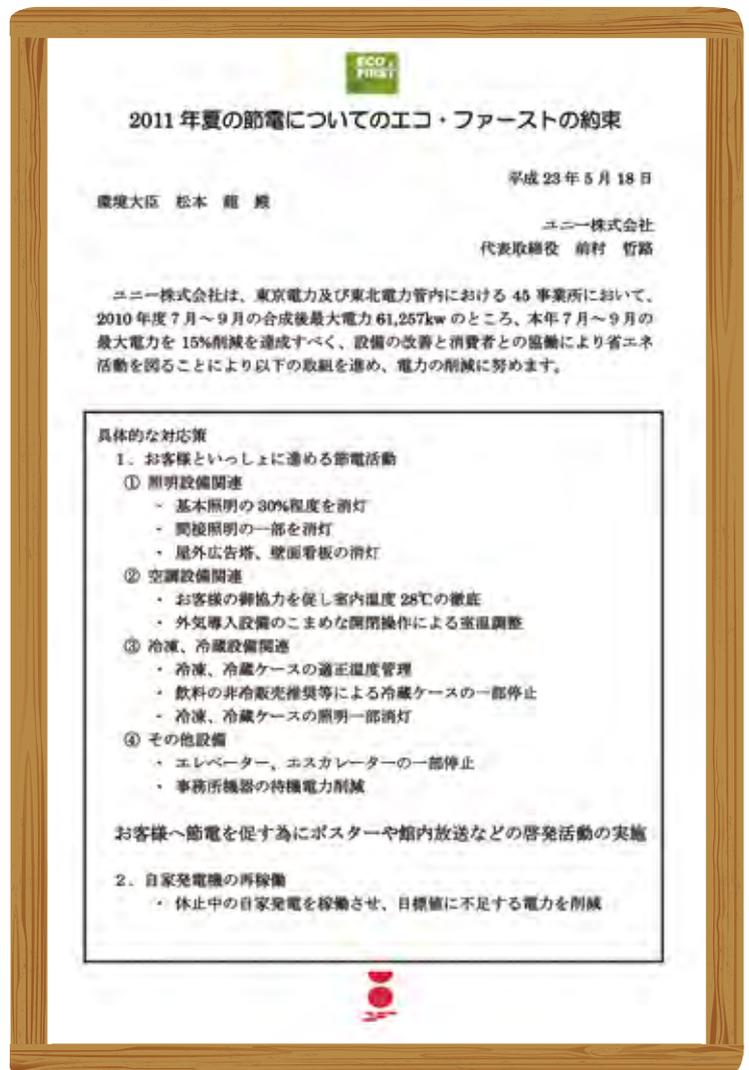
お客様の家庭での節電対策

原子力発電所停止による電力供給量の減少や夏のピーク電力時の停電への心配から、節電への関心は企業活動だけではなく、家庭やオフィスなどでも高まっています。そして昨今の気温上昇やゲリラ豪雨など異常気象の原因といわれる温暖化ガスの排出抑制のためにも、自ら節電しようという市民が「自分達にできることから」と努めているからです。

ユニーはお客様に節電ライフの情報を伝え、役に立つ商品の提案をパンフレットにして配布しました。



「節電ライフ」パンフレット



節電の約束